

## 安全上のご注意

- 表示された電圧でご使用ください。表示以外の場合、火災、感電、破損の原因になります。
  - 本機の裏ぶたやカバーを開けたり、分解、改造をしないでください。火災、感電、破損の原因になります。修理はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
  - 本機は湿気の多い環境、高い温度の場所、日光が直接あたる場所での使用は避けてください。
  - 長い時間使用しない場合は接続を外してください。
  - 火災、地震、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用による損害に関して、当社は一切責任を負いません。
  - 本製品は FCC 規制パート 15 によるクラス B デジタル製品の制限に準拠しています。このため本製品の操作を行なう際には、以下の 2 つの条件に従います。(1) 本機器が有害な電波障害の原因となる可能性はないこと。(2) 不本意な操作による電波障害を含む何らかの電波障害を本製品が受けた場合、それを受け入れなければならぬこと。
- 本取扱説明書は大切に保管してください。

## 製品の概要

NUX B-8 は、自動ペアリングを備えた24bit/48kHzの高音質な2.4GHzワイヤレスシステム。最新のテクノロジーを搭載し、ピークパフォーマンス時では2.5msの超低レイテンシーを実現しました。エレキギター、エレキアコースティックギター、ベースギターなど様々な楽器に対応。ユーザーフレンンドリーなマッチングシステムにより、TX&RXの電源を入れるだけで、数秒以内に自動でペアリングが完了。各ワイヤレスセットにはNUX独自のペアリング・アルゴリズムが採用されており、自動的にお互いを検出し、独自のIDを作成します。内蔵ブースターや、クロマチック/ギターSTD/ギターCPS/ベースチューニングモードを備えたデジタルチューナーも搭載しており、ミュージシャンがステージで演奏する際に非常に便利です。

- 周波数帯域: 2400 - 2483.5MHz
- オーディオ品質: 24bit/48kHz
- 伝送距離  
屋内: 最大60m  
屋外: 最大50m  
※電波干渉の無い空間での使用を想定した理論値となります。
- 周波数特性: 20Hz - 20kHz
- レイテンシー:  $\geq 2.5\text{ms}$
- THD+ノイズ: 0.01%@1kHz 以下
- TXバッテリー: 最大6 時間
- チューニング精度:  $\pm 1\text{セント}$
- チューニングレンジ: F#0 - C8
- チューニングモード: クロマチック/ギターSTD/ギターCPS/ベース
- ブースト音量: 0dB - 12dB

## ファームウェアのアップデート

機能の追加 / 修正等を行う為、ファームウェアを更新することが有ります。最新のファームウェア情報は製品 HP をご確認ください。

NUX HP 製品ページ (<https://nuxaudio.com/product/b8/>) Support から、"NUX B-8 Firmware (Mac or Windows)" をダウンロードします。ダウンロードしたファイルは圧縮されていますので解凍（展開）してください。

HOME ボタンと BACK TO ボタンの 2 つのスイッチを押しながら（押し込んだ状態のまま）電源アダプターを接続してアップデートモードで起動します。アップデートモードで起動すると RX の画面に B-8 Device Firmware Update と表示されます。

PC と RX（レシーバー）を USB ケーブルで接続し、ダウンロードしたフォルダの「NUX Device Updater」を起動します。NUX Device Updater の「Select File」をクリックし、同フォルダ内の BIN ファイル（~.bin）を選択。「Start Update」をクリックし、アップデートを開始します。

Upgrade finished! のポップアップが出たらアップデートは完了です。NUX Device Updater を終了し、B-8 を再起動（通常起動）します。

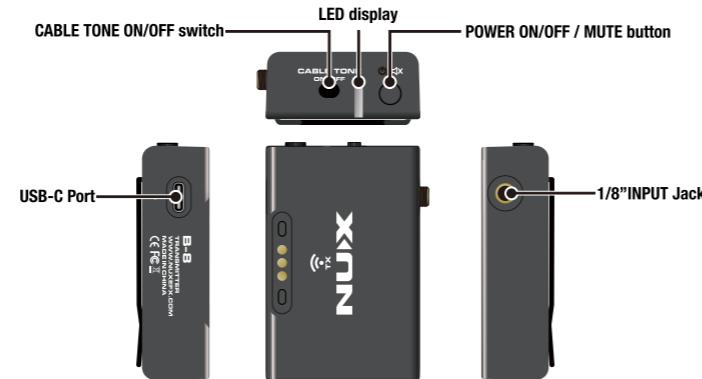
## TXの充電

- TXの電源を入れ TXをRXの充電ポジションに置きます。充電が開始されるとTXのLED が点灯します。
- 5V/500mA以上を給電できるアダプターを使用し、USB-Cポート経由で充電します。



## 各部の名称と機能

## ■ TX (Transmitter)



## POWER ON/OFF / MUTE ボタン

長押ししてTXの電源を入れます。TXの電源がONでRXとペアリングされた状態で1秒間長押しするとオーディオ出力をミュート、ミュート状態で1秒間長押しするとミュートを解除することができます。

## CABLE TONE ON/OFF スイッチ

ケーブルトーンシミュレーションのON/OFFを切り替えます。ONにすると通常のケーブルを使用したときのようなウォームなサウンドを得ることができます。

## LED ディスプレイ

LEDの色で下記を表します。

## Green



- ペアリングが完了すると点滅から点灯へ変化。
- 電源投入時グリーン: バッテリー残量75%超。

## Orange



- 電源投入時オレンジ: バッテリー残量50%超75%以下。

## Red



- 充電中レッド点灯。充電完了で消灯。
- ミュート時レッド点灯。
- ペアリング失敗時レッド点滅。
- 電源投入時にレッド点灯: バッテリー残量15%超50%以下。
- 電源投入時にレッド点滅: バッテリー残量15%以下。（まもなくTXの電源が切れます。）

## 1/8" INPUT ジャック

付属のケーブルを使用して、ギターなど楽器の1/4"アウトプットジャックを接続します。

※ナットを締めてINPUTジャックとケーブルを固定してください。

## USB-C ポート

TXを直接充電する事が可能です。充電時は5V/500mA以上のアダプターを使用してください。

## ■ RX (Receiver)



## Control Panel

## LCD display

## HOME button

## 1/4"OUTPUT/SEND jack

## 1/4"RETURN jack

## Control Panel

## LCD display

## SELECT/PARA knob

## BACK TO button

## 1/4"INPUT jack

## NUX

## FOOT SWITCH

## 1/4"RETURN OUTPUT

## I/O Jacks



## LCD ディスプレイ

視認性の高いカラーLCDディスプレイ。

## HOME ボタン

ボタンを押すとホーム画面に戻ります。

## SELECT/PARA ノブ

ノブを押して設定画面に移動したり、設定の変更を確定します。ノブを回して項目の選択やパラメータを調整します。

## BACK TO ボタン

ボタンを押すと各設定画面からSETING画面（設定メニュー）へ戻ります。

## FOOT SWITCH

短押しでチューナー画面の表示、ホーム画面での長押しでブーストのON/OFFを変更します。（システム設定で変更が可能。）

## DC 9V ジャック

付属のACアダプター（ACD-006A）を接続しRXの電源を入れます。

## USB-C ポート

USBケーブルを使用してPCと接続。ファームウェアのアップデートなどに使用します。

## DI OUT ジャック

XLR バランス出力。RXをアンプやミキサー、オーディオインターフェイスなどにバランス伝送で接続することができます。

## LIFT/GND スイッチ

DI OUT のリフト/グランドを切り替えます。

## 1/4" OUTPUT/SEND ジャック

RXからアンプへ接続（出力）します。また、エフェクトループのSEND（出力）として使用する事も可能です。

## 1/4" RETURN ジャック

エフェクトループ使用時、エフェクトペダルからの出力を接続します。

## 1/4" RETURN OUTPUT ジャック

エフェクトループでSEND/RETURN ジャックを使用している場合、この端子でRXからアンプへ接続（出力）します。

## 1/4" INPUT ジャック

TXが未接続（電源OFF）の時、このジャックにギターやその他の楽器を接続して使用する事ができます。

このジャックに1/4"ケーブルを接続するとRXは自動的に"CABLE IN"モードに切り替わります。このモードでは、チューナー、ディスプレイ設定、チューナー設定にのみアクセスできます。

## FOOT SWITCH

TUNERを選びます。FOOT SWITCHを押すと、チューナー画面へ切り替えます。

## DISPLAY setting

## Cable in mode

## Tuner

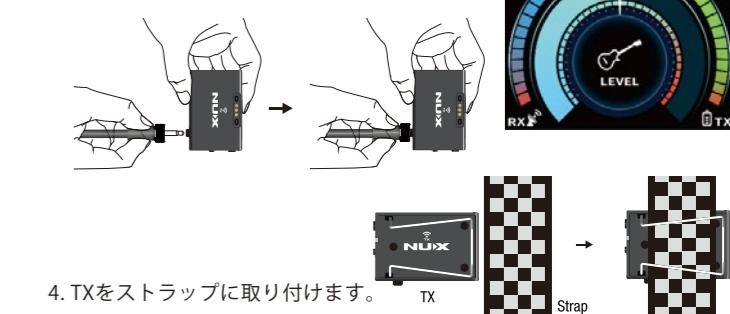
## 使い方

B-8 は工場出荷時にペアリングされています。RX( レシーバー ) と TX( トランシミッター ) の電源を入れるだけで自動的にお互いを検知し、安定した接続を確立できる最適なチャンネルを選択します。

1. POWER ON/OFF / MUTE ボタンを長押ししTXの電源を入れます。次にRXの電源を入れると、自動的にTXとRXがペアリングされます。

2. RXの画面には信号の入力レベル、信号の電波レベル、TXのバッテリー残量などが表示されます。

3. 付属のケーブルをTXの1/8"INPUT ジャックへ接続し、ナットを回してTXとケーブルを固定します。



4. TXをストラップに取り付けます。TX → Strap

5. 最適な送信パフォーマンスを得るためにTXを下図の様にストラップへ固定した状態でご使用ください。TXが体から離れる事で送信に適した距離となります。



6. TXを楽器に接続し、RXをアンプやミキサーに接続します。

7. フットスイッチを押すと、チューナー画面へ切り替え、またはブースターのON/OFFが可能になります。

フットスイッチによるチューナー画面の表示とブースターの切り替えは、システム設定から下記の2種類から選択する事ができます。

TUNERを選択するとフットスイッチの短押しでチューナー画面の表示、長押しでブースターのON/OFF。

BOOSTを選択するとフットスイッチの短押しでブースターのON/OFF、長押しでチューナー画面の表示。



※ チューナー画面ではブーストのON/OFF切り替えはできません。  
HOME画面に戻って操作してください。

